

平成23年 8月分電力需給状況

需要の概要

平成23年8月分の販売電力量は、25億6千1百万kWh時、前年比 92.5%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、昨年の猛暑による需要増の反動に加え、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、前年比 87.4%となった。

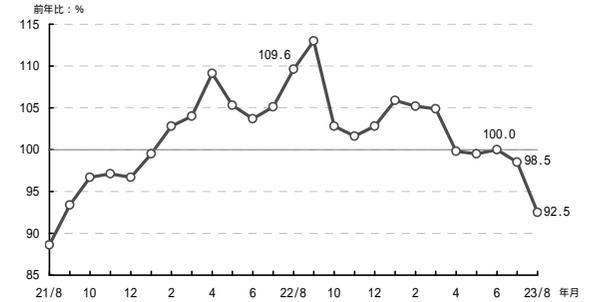
事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様、気温要因や節電の影響などから、前年比 91.8%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼や機械などが前年を上回ったが、繊維や紙・パルプが前年を下回り、前年比 99.7%となった。

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	806	87.4
	電 力	180	87.7
	計	986	87.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	669	91.8
	産業用電力	906	99.2
	うち大口電力	(689)	(99.7)
	計	1,575	95.9
販売電力量 計		2,561	92.5
融 通		517	102.3

	電力量	前年比		
		23/8月	23/7月	23/6月
織 維	31	90.1	92.2	101.1
紙・パルプ	113	96.4	97.4	109.1
化 学	98	100.1	98.6	95.8
鉄 鋼	69	104.1	98.2	99.0
機 械	169	102.4	98.4	101.5
そ の 他	209	99.3	100.8	102.4
合 計	689	99.7	98.6	101.9

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温 ()

	23/7月				23/8月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	26.8	27.4	27.3	27.1	28.7	29.0	27.2	28.3
平年差	1.2	0.5	0.6	0.3	0.6	1.0	0.2	0.5
前年差	0.7	0.8	1.4	0.1	0.5	1.2	2.4	1.4

供給の概要

- 原子力は、伊方3号機定期検査期間の長期化の影響により、前年比 57.9%となった。
- 水力は、渇水の影響などにより、前年比 77.6%となった。
- 火力は、原子力や水力の減少などの結果、前年比 123.6%となった。

		電力量	前年比	備 考
原子力	(24)	841	57.9	出水率 90.5% (22年8月出水率 92.6%)
水力	(9)	305	77.6	
火力	(66)	2,311	123.6	
新工ネ	(1)	24	88.7	
発電電計	(100)	3,481	93.0	
その他		12		
供 給 計		3,469	93.7	

注1. 新工ネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況 (百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(95.1) 568	(91.9) 427	(90.9) 871	(92.8) 695

注.()内は前年比